

令和 4 年度
(2022 年度)

自己点検・評価報告書

令和 4 年(2022 年) 4 月 1 日から
令和 5 年(2023 年) 3 月 31 日まで

令和 5 年(2023 年)4 月 27 日

学校法人吉田学園
吉田学園動物看護専門学校

■令和4年度 自己点検・評価について

〈説明〉

本校が、教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的責任を果たすため、校訓や学校の目標と教育の実態とを照らし合わせ、自らの教育研究活動等の状況について検証し現状の把握・認識したうえで、学校関係者への報告を実施してガバナンスの改善を行い、組織的に健全な学校運営を継続することを目的に実施する。

1. 対象期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

2. 委員会開催

第1回 令和4年4月13日(各分野の評価集約。結果報告と検討)

第2回 令和4年4月27日(検討結果の反映報告と提出)

3. 実施方法

(1) 実施組織: 自己点検・評価委員会

委員長: 滝本 玲 吉田学園動物看護専門学校 校長

委員: 古久保 英樹 吉田学園動物看護専門学校 学科長

(2) 評価基準: 文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠しています。

(3) 評価方法: 学則、教務内規、学習のしおりや学生便覧に記載されている校訓や指導規定などと照らして各種評価を行い、自己点検・評価委員会を開催し、学校として自己点検・評価を取り纏めています。

4. 評価項目

(1) 教育理念・目標

(2) 学校運営

(3) 教育活動

(4) 学修成果

(5) 学生支援

(6) 教育環境

(7) 学生の受け入れ募集

(8) 財務

(9) 法令の遵守

(10) 社会貢献・地域貢献

(11) 国際交流

5. 評価項目に対する評価

(1) 4段階で点数評価しました。

4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切

(2) それぞれの評価項目のうち評価3以下のものについての状況と課題、対策について報告いたします。

1 学校の教育目標

校訓 「動物愛護」 命の重さに一途一心

動物看護学科

「動物医療の現場を支えるプロとしての動物看護師を養成」

どうぶつを医療・看護、健康面から支える知識・技術の修得はもちろんどうぶつの状態、飼い主さまの気持ちを理解し、適切な対応ができる動物看護師を目指す。

トリマー学科

「あらゆる犬種に対応できる動物美容のスペシャリストを養成」

2年間の学習で、現場に出て活躍するために必要な高いレベルの技術やどうぶつの健康についての知識、飼い主さまとの接し方などを身につけ、信頼されるトリマーを目指す。

トリマー専攻科

「1年間でどうぶつの「キレイ」と「健康」を支えるプロに！」

1年間の短期集中で現場に通用する高いレベルの技術、どうぶつの健康についての知識、飼い主さまとの接し方なども学び、どうぶつの「キレイ」と「健康」を支えるトリマーを目指す。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

● 入学者目標

- オープンキャンパスからの歩留まりアップ
 - ・設定目標値超
 - ・訴求ポイントの徹底
 - ・教員および学生スタッフ、施設内等
- 広報との連携強化
 - ・活動の相互理解を深め、有効な取り組みの研鑽を図り実施
- 情報発信
 - ・SNS等発信数の増
 - ・HPの工夫
 - ・高校渉外

● 離脱者減少目標

- 組織的対応の強化
 - ・校長、副校長面談を含む指導体制の強化
- 離脱傾向学生の早期発見
 - ・担任による個別面談の複数回実施
 - ・教員間(非常勤講師含む)での情報共有
 - ・HR以外での積極的な学生関与
 - ・外部機関(含、医療)との連携

● 就職率向上目標

- 組織的対応の強化
 - ・ノウハウの共有
 - ・担当者と担任間での連携強化
- 就職支援の充実
 - ・就職を見据えた、学校生活指導の徹底
 - ・個別指導の徹底
 - ・学外実習等、意欲向上機会の工夫

- 資格取得率目標
 - 担当教員間での情報共有と研修の実施
 - 習熟度に応じ、早期補講対応の実施
 - 学習モチベーションを継続させる工夫の促進
 - 試験対策の徹底

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(1)-1 学校の理念・目的・育成する人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
(1)-2 学校における職業教育の特色は何か	4
(1)-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
(1)-4 学校の理念・目的・育成する人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
(1)-5 学校の教育目標、育成する人材像は、学校に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(2)-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
(2)-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
(2)-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
(2)-4 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
(2)-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
(2)-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4

(2)-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
(2)-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(3)教育活動

評価項目	適 切…4 ほ ぼ 適 切…3 や や 不 適 切…2 不 適 切…1
(3)-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
(3)-2 教育理念、育成する人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
(3)-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
(3)-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
(3)-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
(3)-6 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
(3)-7 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
(3)-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
(3)-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
(3)-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
(3)-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
(3)-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
(3)-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
(3)-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(4)学修成果

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(4)-1 就職率の向上が図られているか	4
(4)-2 資格取得率の向上が図られているか	4
(4)-3 退学率の低減が図られているか	4
(4)-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
(4)-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(5)学生支援

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(5)-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
(5)-2 学生相談に関する体制は整備されているか	4
(5)-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4

(5)-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
(5)-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
(5)-6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
(5)-7	保護者と適切に連携しているか	4
(5)-8	卒業生への支援体制はあるか	4
(5)-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
(5)-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(6)教育環境

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(6)-1 施設・設備・図書は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
(6)-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
(6)-3 防災に対する体制は整備されているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(7)-1 学生募集活動は、適正に行われているか	3
(7)-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
(7)-3 納付金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・(7)-1 … 当初に掲げた活動目標に対し相応の対応をしたが、結果に表れなかった。

② 今後の改善方策

- ・(7)-1 … 次年度は計画段階から、途中経過で目標の見直しをするなどの対応策を入れる。

③ 特記事項

(8) 財務

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(8)-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2
(8)-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
(8)-3 財務について会計監査が適正に行われている	4
(8)-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

- ・(8)-1 … 入学生の定員確保

② 今後の改善方策

- ・(8)-1 … 魅力ある学校をしっかりと入学対象者にアプローチし、知ってもらえる取り組み方法を確立する。

③ 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(9)-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
(9)-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
(9)-3 自己点検・評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
(9)-4 自己点検・評価結果を公開しているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(10)-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
(10)-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
(10)-3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(11) 国際交流

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(11)-1 留学生の受入れについて戦略を持って行っているか	4
(11)-2 留学生の受入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
(11)-3 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
(11)-4 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2

① 課題

- ・(11)-4 … 具体的な取り組みには至っていない。

② 今後の改善方策

- ・(11)-4 … 関連部署と情報共有を図りながら対応にあたる。

③ 特記事項

総括

教員の勉強会・研修について、教育基軸担当が実施する勉強会に個人単位で参加することとし、学内での対応には至らなかった。余力を持って取り組めるよう、業務環境の改善・工夫を図り、勉強会・研修会の定着に向け継続して対応したい。

新設学科「愛玩動物看護師学科」を含む、教育課程の見直しを行なった。

3ポリシーと教育活動との関連性を明確にして、教員間で相互理解を図ることはできた。新学科の充実に向け、更なる協議機会を設け、計画的に取り組みたい。

資格取得については、初の愛玩動物看護師試験では、1名の不合格者が出た。愛玩動物飼養管理士1級 96.7% (29/30)、愛玩動物看護師試験 94.1% (16/17)、サロントリマー検定1級 100.0% (14/14)という結果。次年度は全100%を目指したい。

また、在籍率について。経済面や体調不良、極端な学力不足など、保護者の理解や協力を得ながら可能な限り対応してきたが、学校教育の指導の範囲を超える状況もあった。

就職指導については、他職種、正規雇用を希望しない学生がトリマー学科に限り、例年より多い年度であった。就職への動機付け、意欲の持たせ方に工夫が必要と感じた。

財務基盤の安定については、関連部署で連携し、情報配信や露出機会を増やし、カリキュラムの改編や資格取得・学校行事の見直しも行うなど計画どおり取り組んだが結果に繋がらなかった。次年度は対応策を計画段階から見直す必要がある。

以上